

2022年12月吉日

会員各位

公益社団法人 日本人間ドック学会  
理事長 荒瀬 康 司

### 新規開発検査実施における留意点

最近、様々な新規検査（特にがん診断等）に関するものが開発され、医学的な評価や陽性者に対するフォローアップ方法が明確でなく、実施されている現状にある。当学会に対しても様々な問い合わせや苦情が寄せられており、以下の基本的な考えを示す。

#### （基本的な考え方）

- 1) 新規開発検査は、人間ドックや健診時にオプション検査として実施し、関連する健診項目の検査結果と併せ、総合的に判断することが望ましい。
- 2) 新規開発検査実施に際しては、受診者に対し客観的な医学的評価を示し、心理的な負担などの不利益についても十分な説明を行うこと。
- 3) 保険適用外の新規開発検査で陽性になった場合、特に自覚症状がない方の精密検査などに関する費用は、保険診療適用外であることを留意すること。

以上